



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第3号
令和2年6月10日
文責:校長 酒井康雄

「ほたるっ子」の具体的な姿とは？

磐梯第一小学校で目指す子どもの姿を、学校のシンボルマークのホタルにちなんで「ほたるっ子」と称しています。では、具体的にどんな姿をイメージしたらよいのでしょうか。校長として、ぜひ子どもたちに目指してほしい姿があります。それは、次の3つです。

【やる気が伝わってくる姿】

- 例えば → ○ いやなことでも前向きに挑戦しようとする姿
○ すぐに助けを求めず、まず自分でやってみる姿
○ 自分で限界を決めず、もっとがんばろうとする姿
○ さらによりよいものを求める姿 など

【元気が伝わってくる姿】

- 例えば → ○ 自分から大きな声であいさつする姿
○ 回りの人を笑顔にし、元気や勇気を与える姿 など

【根気強く取り組む姿】

- 例えば → ○ 自分の目標に向かってやり続ける姿
○ どんな状況でもあきらめない姿 など

私自身、常に「やる気、元気、根気」をモットーに心がけて取り組んでいますが、特に大切だと感じたのは東日本大震災の時でした。それまでの日常生活では考えられない想定外の状況の中で、前向きに生き抜く上で必要な「3つの気」と感じました。

いくら愚痴を言ってもすぐに解決しない混沌とした中、とにかく今日よりも少しでもよりより明日を夢見て、前向きに進むことが余儀なくされた状況の時、必要とされる姿が「やる気、元気、根気」でした。

現在、新型コロナウイルスの感染のため、先行き不透明な状況は、東日本大震災を思い起こさせる状況、いや、それ以上の状況になるかもしれません。今後、どんな災害が起こるか分かりませんが、どんな状況であろうと、子どもたちには、常に「やる気、元気、根気」を合い言葉に、前向きに生き抜いてほしいと願っています。

毎朝、登校指導の際には、私が新採用教員の時から30年以上子どもたちを応援するために使ってきた黄色いメガホンで、子どもたちに「やる気、元気、根気」の気持ちが育つことを願い、朝のあいさつ運動に取り組んでいます。